

参考：【エネルギー消費性能計算プログラム】 入力要領について【LT-50Pro】

1. 目的

題記「エネルギー消費性能計算プログラム」における「換気」、並びに「熱交換」の項目の入力について、入力要領を示すものである。(文書発行日時点での URL: <http://house.app.lowenergy.jp/>)

尚、本プログラムは国立研究開発法人建築研究所において予告無くアップデートされるため、以下の資料に記載されている内容は、文書発行日時点での最新状態(「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver 2. 3. 1」)に基づくものとする。

2. 適用

ダクトレス第一種熱交換換気システム LT-50Pro(x = W or S or B)

3. 入力要領

3-1. 「換気」への入力

- ① 「換気」のタブを選択します。
- ② 「換気設備の方式の選択」は、「壁付け式第一種換気設備」を選択します。

エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver 2.3.1

基本情報 外皮 暖房 冷房 **換気** 熱交換 給湯 太陽熱 照明 太陽光 コージェネ

換気設備の方式

換気設備の方式の選択

- ダクト式第一種換気設備
- ダクト式第二種またはダクト式第三種換気設備
- 壁付け式第一種換気設備
- 壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備

壁付け換気設備を設置する場合

省エネルギー対策の有無および種類

- 特に省エネルギー対策をしていない
- 比消費電力を入力することにより省エネルギー効果を評価する

比消費電力

W/(m³/h)

(小数点以下2桁)

- ③ 「壁付け換気設置を設置する場合」の欄が表示されます。
- ④ 「省エネルギー対策の有無および種類」は、「比消費電力を入力することにより省エネルギー効果を評価する」を選択します。
- ⑤ 下表に従い「比消費電力」を入力します。

型名	風向	消費電力 (W)	設計風量 (m ³ /h)	比消費電力 (W/m ³ /h)
LT-50Proシリーズ	給気/排気	5. 20	25	0. 21
	排気/給気	5. 20	25	0. 21
	2台1組	10. 40	50	0. 21

換気回数

換気回数 ⑥ 0.5回/h
 0.7回/h
 0.0回/h

有効換気量率 ⑦

第一種換気設備の場合における有効換気量率 ⑦ (小数点以下2桁)

- ⑥ 「換気回数」は、「0.5回/h」を選択します。
- ⑦ 「第一種換気設備の場合における有効換気量率」に「1.00」を入力します。

3-2. 「熱交換」への入力

エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver 2.3.1

基本情報 外皮 暖房 冷房 換気 **熱交換** 給湯 太陽熱 照明 太陽光 コージェネ

熱交換型換気設備 ①

熱交換型換気設備の設置 ② 設置しない
 設置する

温度交換効率

温度交換効率 ③ % (整数)

給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数 ④ (小数点以下2桁)

排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数 ⑤ (小数点以下2桁)

① 補正係数の計算に「[温度交換効率の補正係数 \(C_{bal}, C_{leak}\) の算出ツール](#)」(別ウィンドウに表示されます)を利用するか、下記の値を入力してください。

- 給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数：0.90
- 排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数：1.00

- ① 「熱交換」のタブを選択します。
- ② 「熱交換型換気設備の設置」は、「設置する」を選択します。
- ③ 「温度交換効率」に、下表の暖房時の温度交換効率の値を入力します。

条件	風量条件	エンタルピー交換効率	温度交換効率
暖房時	強運転 5.0 m ³ /h	7.3%	7.8%
冷房時	強運転 5.0 m ³ /h	6.5%	7.6%

※上記の表は、日本スティーベル(株)の機器提案時の設計資料になります。

- ④ 「給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数」に「0.90」を入力します。
- ⑤ 「排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数」に「1.00」を入力します。